

指定管理者の期末モニタリング

施設名	町立図書館	年度	令和2年度
指定管理者	株式会社図書館流通センター	担当課	教育推進課
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	期別	第2期
施設の目的	図書その他の資料提供を中心とする活動によって、町民の文化・教養・調査・研究・レクリエーション等に資することを目的に設置するもの。		
業務の内容	生涯学習及び情報提供の拠点施設として、第2次図書館ビジョンの実現に向けた図書館業務を実施する。		

総合的な評価

【総合評価】 A優良 0 B適正 14 C改善 0

図書館ビジョンに掲げられた目標像を踏まえ、専門事業者としてのノウハウや組織力を活かし、図書の収集・貸出、行事開催、施設管理などのサービスを適切かつ効果的に実施していると認められ、その成果は利用者アンケート等の結果からも確認できる。

これまでに引き続き、町内小中学校図書室への司書スタッフ派遣や調べる学習コンクールなど、児童生徒の読書活動の推進のための取組は学校からも高い評価を得ている。

さらに、令和2年度は、ホームページの改修やテラスの活用について検討を進め、テラス活用については日本工業大学と連携しベンチの制作を依頼するなど、公と民が連携した取組が実施されていることは評価できる内容である。

一方で、利用者の減少傾向は続いている。今年度においては、新型コロナウイルスの影響が大きいため単年度の結果だけでは評価できないが、近年減少傾向が続いていることは利用統計から見て取れる。利用者増を図る取組は課題の一つである。

また、コロナ禍において自宅でも読書や調査研究に資する電子図書館やデジタル郷土資料の活用促進についても、一つの機会と捉え積極的な利用促進策を展開していくことも課題であろう。利用者の声に耳を傾けながら地域の情報拠点として魅力ある施設づくりに一層取り組んでいくことを期待したい。

【評価事項】

- ・町内小中学校図書室への司書派遣をはじめとした、児童生徒の読書活動推進のための取組
- ・世代やテーマ別に作成した本の福袋企画（新型コロナウイルス感染症による非常時におけるスピード感ある取組）
- ・テラス席活用に向けた日本工業大学との連携
- ・ブックポスト設置箇所拡大に向けた事業者との調整

【改善事項】

- ・利用者数（町民）の増加
- ・電子図書、デジタル郷土資料の利用促進

1. 施設の管理運営・事業

評価 B 適正

事業計画書に基づく開館日、事業、行事等については、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や利用制限の影響により前年よりも大幅に実績が落ち込んでいる。しかしながら、感染拡大防止に資するための対応でありやむを得ないものとする。

■開館日数：181日（R1年度：288日）

■入館者数：72,869人（R1年度149,353）※対前年比：48.8%

■新規登録者数：378人（R1年度：714人）※対前年比：52.9%

■貸出者数：49,361人（R1年度：80,695人）※対前年比：61.2%（町民：61.2%）

■資料貸出数：167,657点（R1年度：282,958点）※対前年比：59.3%（町民：60.4%）

■行事参加者数：961人（R1年度：3,793人）※対前年比：25.3%

入館者数、貸出者（冊）数ともに、前年度比で20ポイント以上の減となっており、平成27年度以降の減少傾向に歯止めがかかっていない。近隣市町住民の広域利用が全体の約3割を占める中で、平成30年10月の白岡市の新たな図書館の開館による影響はやむを得ない部分ではある。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和2年2月中旬以降の行事が中止、3月6日からの一部サービスの休止の影響により、利用者、貸出数の減少に繋がったことはやむを得ない部分である。

ただし、利用者の減少はそれだけが要因とは言いきれない部分もあると考えられるため、引き続き利用者の増加に向けたサービスの向上策を図っていく必要がある。

2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
利用登録、図書及び有料施設の貸出等は、条例及び規則に基づき適切に実施されている。		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
人員は計画書に則った組織体制を維持しており、スタッフの接客対応については利用者から例年高い評価を得ている。また、コロナ禍においても指定管理者の運営母体を実施するeラーニング研修を活用し、接遇やレファレンス研修を受けるなど職員レベルの維持向上が図られている。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
引き続き、適切に維持管理されるよう務めていただきたい。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
引き続き、適切に修繕されるよう務めていただきたい。		
6. 備品管理	評価	B 適正
図書館の什器備品については適切に管理されている。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
消防法に基づき、防火管理者の配置、消防計画の作成、年1回の避難訓練を適切に実施している。また、地元警察とも連携を図り、お客様に安心して利用いただける環境の確保に努めている。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
個人情報の取り扱いについては、本社から派遣される監査員の監査を定期的実施しており、適切に履行されている。また、図書館システムのクラウド化(平成27年度実施)によって、利用者情報等のセキュリティ強化が図られている。また、令和2年度においても全スタッフがプライバシーマーク研修を受講し、個人情報の取り扱いを適切に行う体制の整備に力を入れている。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
図書館協議会委員や図書館ボランティアからの意見聴取のほか、毎年度末に利用者アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めるとともに読書環境の向上に向けた取組姿勢(HPの改修検討やテラスの活用検討など)が見られる。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響からアンケート回収率が約30%となってしまったことは致し方ない面がある。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの事業が中止せざるを得ない状況ではあったものの、小中学校への司書派遣や調べる学習コンクールを開催し、児童生徒の読書活動の推進のための事業には積極的に取り組んでいる。 ・また、世代やテーマ別に作成した本の福袋企画は、メディア取材を受けるなど注目を得ており、利用者にも好評を得ている。 		
11. 経費節減	評価	B 適正
経費節減の努力は年間を通して励行されている。電気料に関しては、電力会社の見直しにより経費削減がなされている。一方で、業務委託料が大きく増加している。ホームページ改修などの単年度特殊要因を省いたうえで、適切な業務委託となるよう、業者の見直しもさることながら、委託内容に関しても今後整理していく必要があるのではないかと考える。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
ごみの分別をはじめ、適切な処理を行っている。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、臨時休館や一部サービスの制限などイレギュラーな対応を要する場面が多々あったが、HPや図書館だよりでの情報発信を適切に実施していた。また、みやしろライブらりあんズ(司書が発信するブログ)での特集コーナーやブックポストの新設などの情報発信に加え、電子図書館の利用促進のための啓発物(ミニのぼり)の作成など積極的かつ工夫を凝らした情報提供を実施していた。		
14. 会計管理	評価	B 適正
会計管理については、指定管理者(本社)の会計担当により適切に実施されている。		